

## 日本政策投資銀行

「大都市圏からの住民の受入れ」など地域の可能性を提案

総社市「地域づくり健康診断報告会」岡山県下では初めて開催

通常総会終了後に日本政策投資銀行による「地域づくり健康診断」報告会を開催した。

「地域づくり健康診断」とは国勢調査等の統計データの分析と投資銀行による現地視察、また、地元からのヒアリングを基に診断を行い、その結果、地域の課題・新たな可能性を発見するプログラムとして全国で開催しており、岡山県では初めての開催で、中国地方では中海宍道湖経済圏（鳥取、島根県）、府中市、鳥取市に続き4番目となる。まず始めに、現状分析として総社市のみならず岡山都市圏がすでに人口・雇用・工業・商業等が頭打ち状態になってあることが指摘され、それらを踏まえ、抽出された主な課題と対応策は以下の通りで、総社市の災害の少ない所に視点を置いたものなど興味深いものが挙げられた。

### 課題

曲がり角に立つベッドタウン

製造業中心の産業構造への不安材料

賑わいの核を失い、加速する市街地空洞化

地域地減を活かしきれっていない観光集客産業

### 対応策

域外（大都市圏）住民受入れの可能性（災害時の疎開先）

製造業＋ の新たな雇用・産業振興戦略

若者世代や女性の視点を入れた賑わい空間の再生

地域資源を最大限活かした観光・集客戦略

このように第3者の視点から改めて分析してもらったことで、地域が当たり前として捉えているものも総社市のプラス材料として捉えることができ、総社市の安全性、住み易さを再認識することができた。今回の診断で得た資料は、今後の地域づくりの参考資料として有効に活用していく。

# 総社市

# 地域づくり健康診断

2007年3月26日(月)

日本政策投資銀行 地域企画部・岡山事務所



# 「地域づくり健康診断」とは

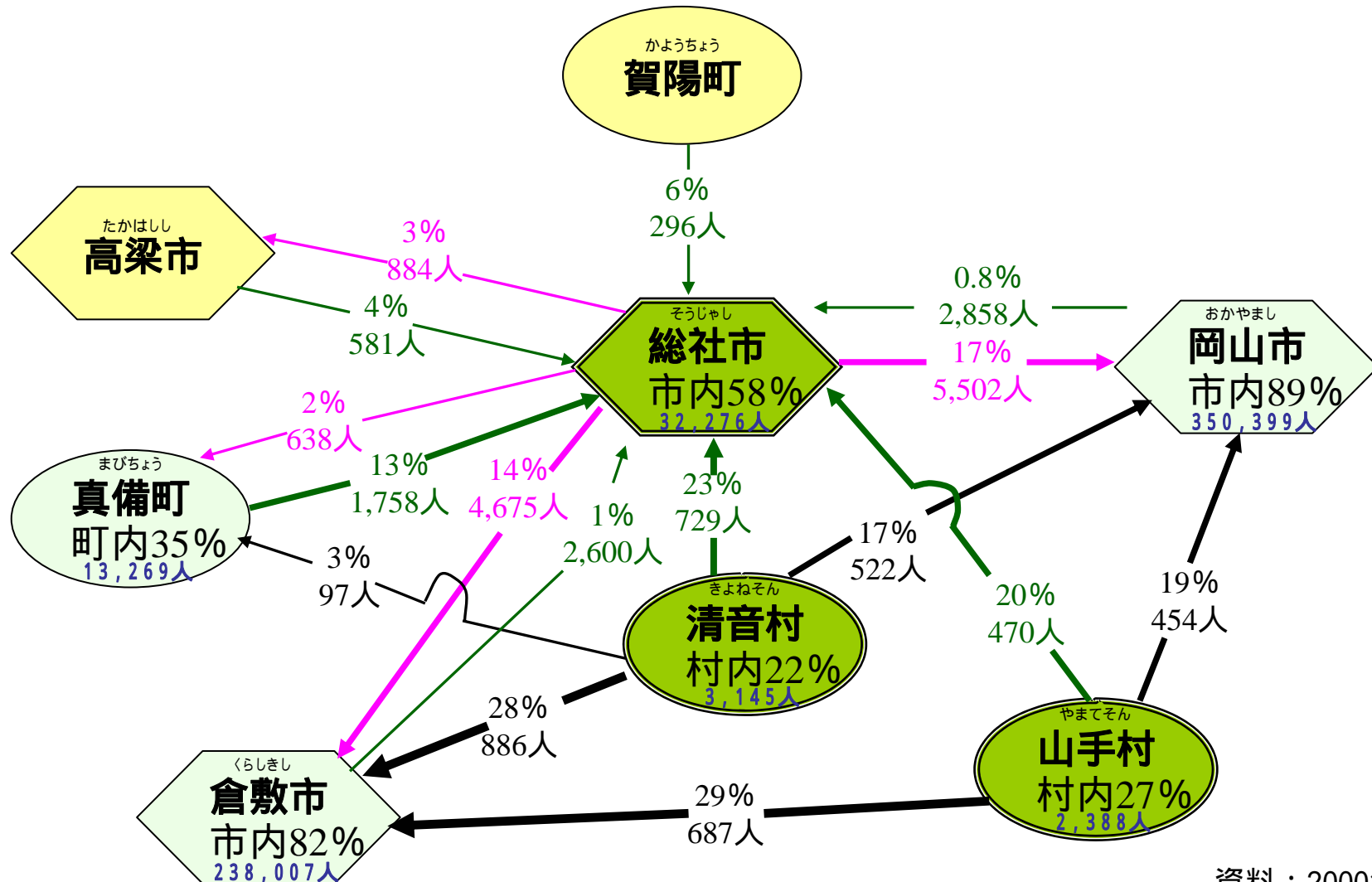
1. DBJ地域診断チームが、予め公表データなどから把握しうる地域の現状分析をもとに、現地取材情報を加え、独自の分析による地域の診断結果を解説します。
2. 診断結果についての地域の皆様とのディスカッションを通して、地域の課題と可能性を地域の皆様自身に発見していただくことで、今後の地域の方向性を考える“機会”を提供するプログラムです。
3. 地域の課題と可能性に対する地域の皆様の認識共通化を図り、これを踏まえた“次の”行動(プロジェクト創出等)を起こす契機としていただきたいと思います。



# 総社市をとりまく地域構造

～平成合併前～

各市町に住む就労者(自営含む)と学生(15歳以上)の通勤通学先とその割合



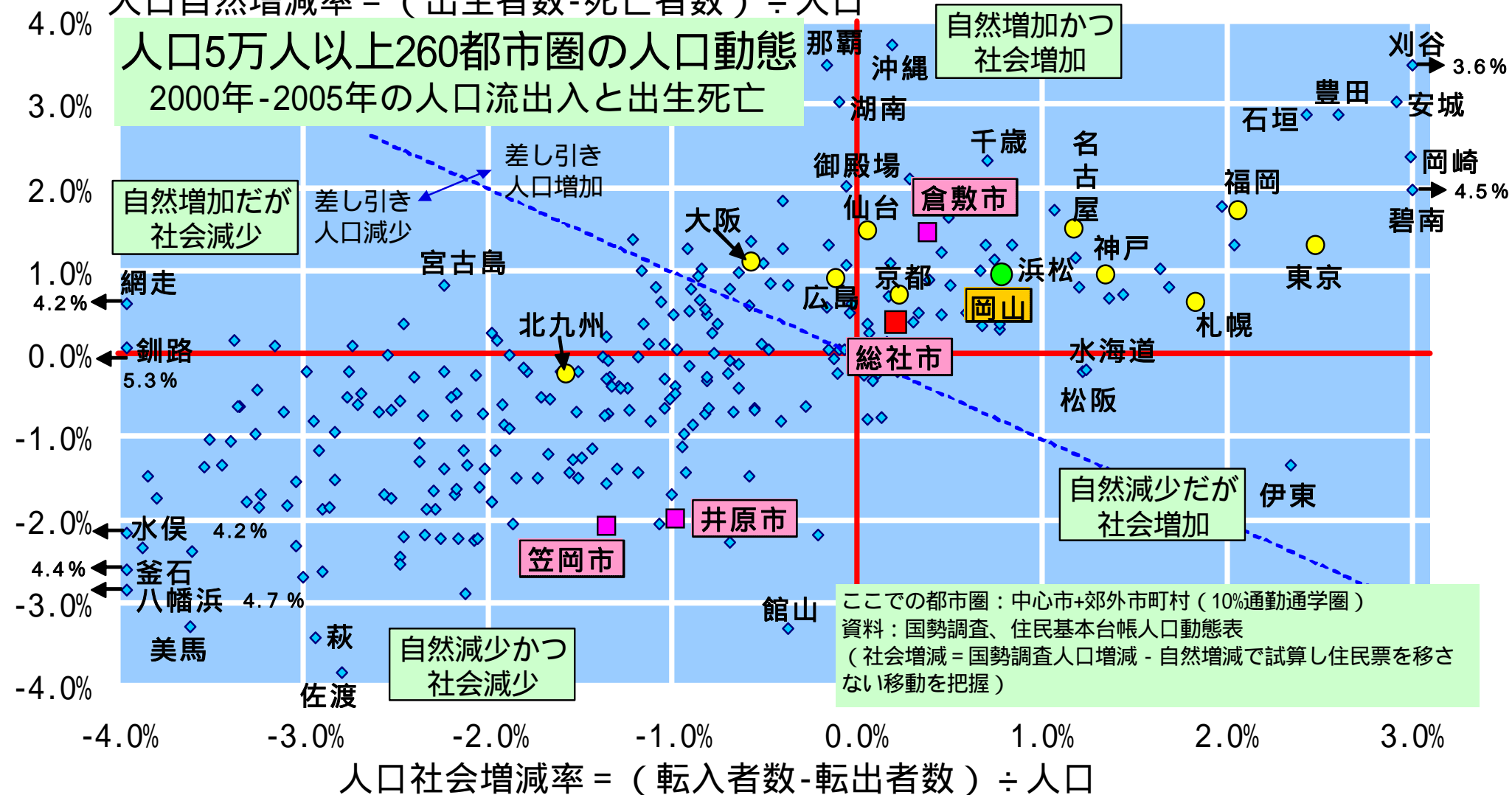
# 主要都市圏最新(5年間)の人口動態

ここでの都市圏：中心市 + 周辺市町村 (2000年国勢調査に基づく10%通勤通学圏) - 05.10.1現在

$$\text{人口自然増減率} = (\text{出生者数} - \text{死亡者数}) \div \text{人口}$$

## 人口5万人以上260都市圏の人口動態

2000年-2005年の人口流出入と出生死亡



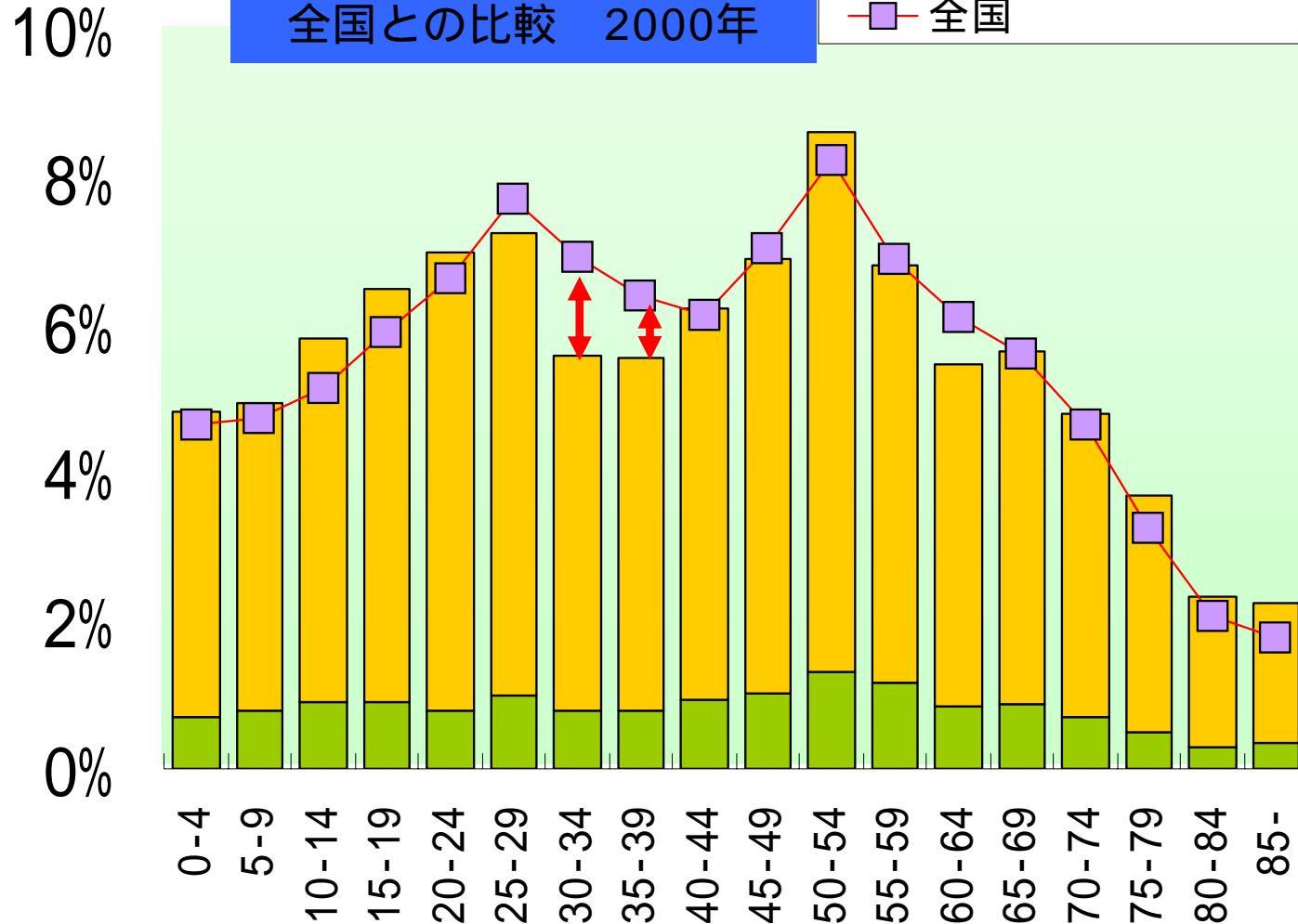
このスライドだけは、2005.10.1時点の市町村区分を使用

# 総社市の人口動態

## 年齢別人口構成

全国との比較 2000年

- (旧)総社市
- (旧)山手村 + 清音村
- 全国

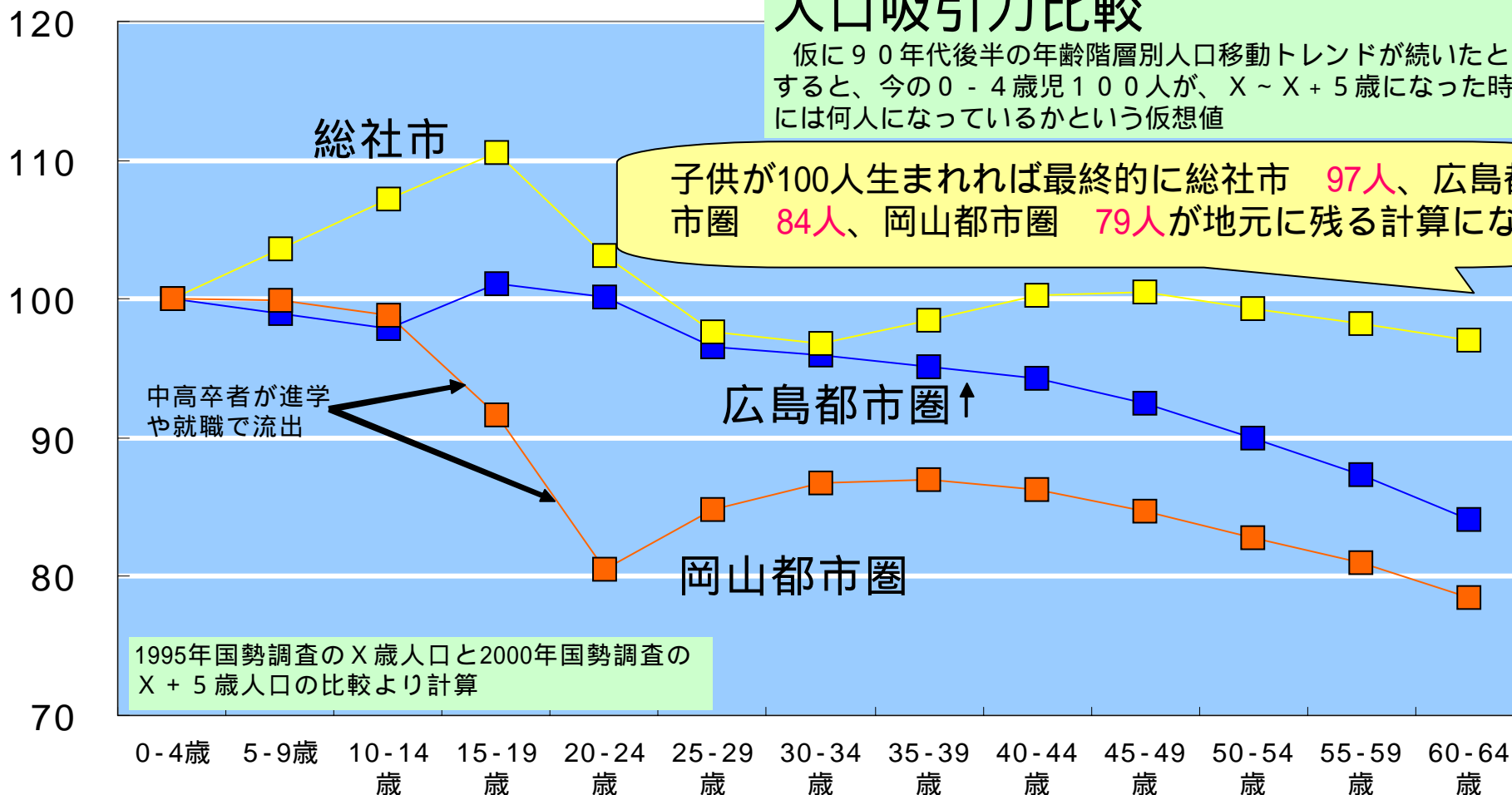


# 総社市の人口吸引力

## 総社市と広島・岡山都市圏 人口吸引力比較

仮に90年代後半の年齢階層別人口移動トレンドが続いたとすると、今の0-4歳児100人が、X~X+5歳になった時には何人になっているかという仮想値

指数(0-4歳人口 = 100人)



子供が100人生まれば最終的に総社市 97人、広島都市圏 84人、岡山都市圏 79人が地元に残る計算になる

中高卒者が進学  
や就職で流出

1995年国勢調査のX歳人口と2000年国勢調査のX+5歳人口の比較より計算

現 総社市 = 総社市、山手村、清音村

広島都市圏 = 広島市、府中町、海田町、呉市、大竹市、東広島市、廿日市市、熊野町、坂町、江田島町、大野町、湯来町、佐伯町、宮島町、濃美町、沖美町、加計町、豊平町、八千代町、向原町、河内町

岡山都市圏 = 岡山市、倉敷市、玉野市、総社市、備前市、御津町、建部町、瀬戸町、山陽町、赤坂町、熊山町、吉永町、佐伯町、和気町、牛窓町、邑久町、長船町、難崎町、早島町、山手村、清音村、

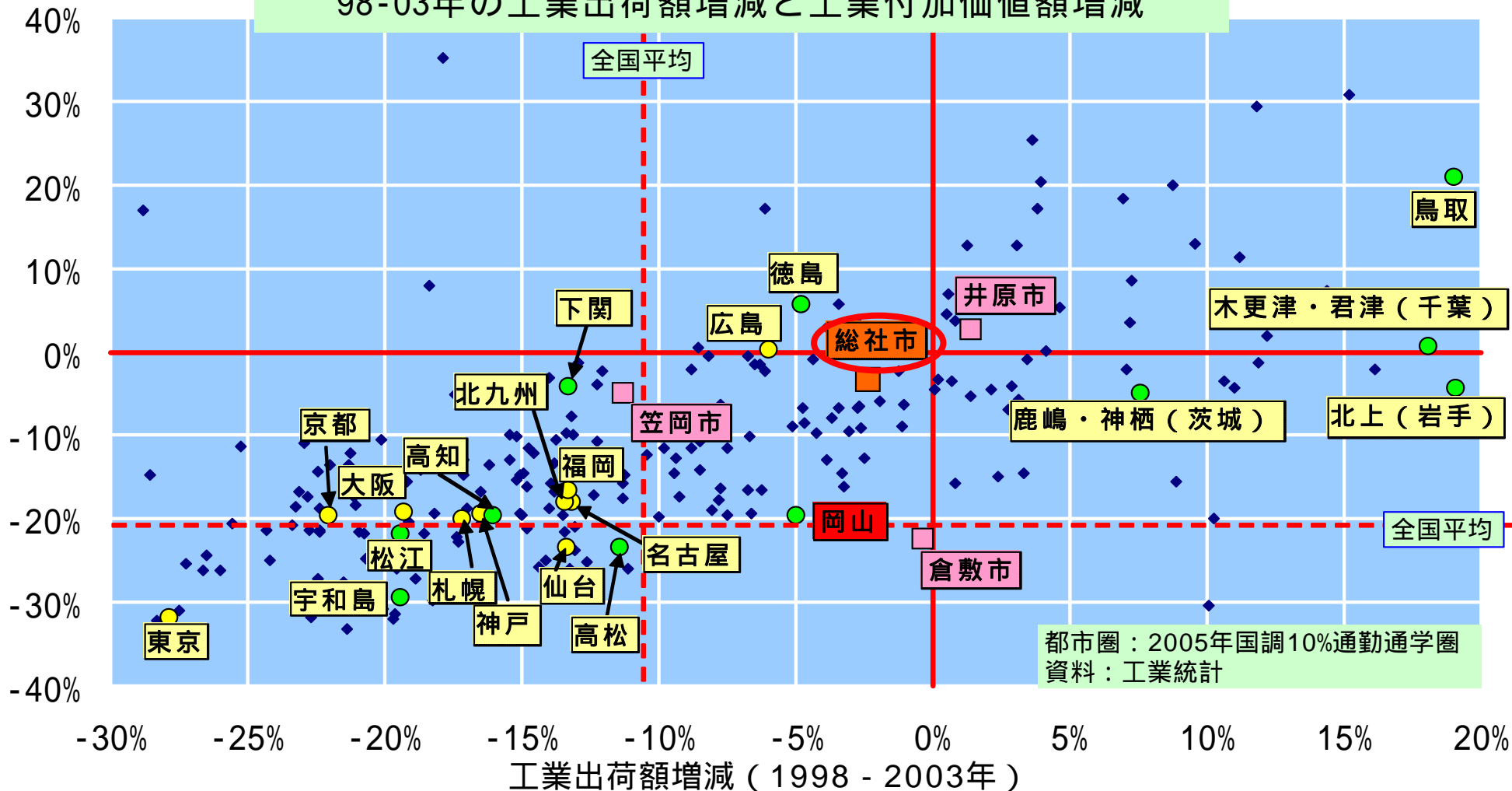
船穂町、金光町、真備町 (1995年、2000年国勢調査)

# 総社市の工業

## 全国主要260都市圏との工業指標比較

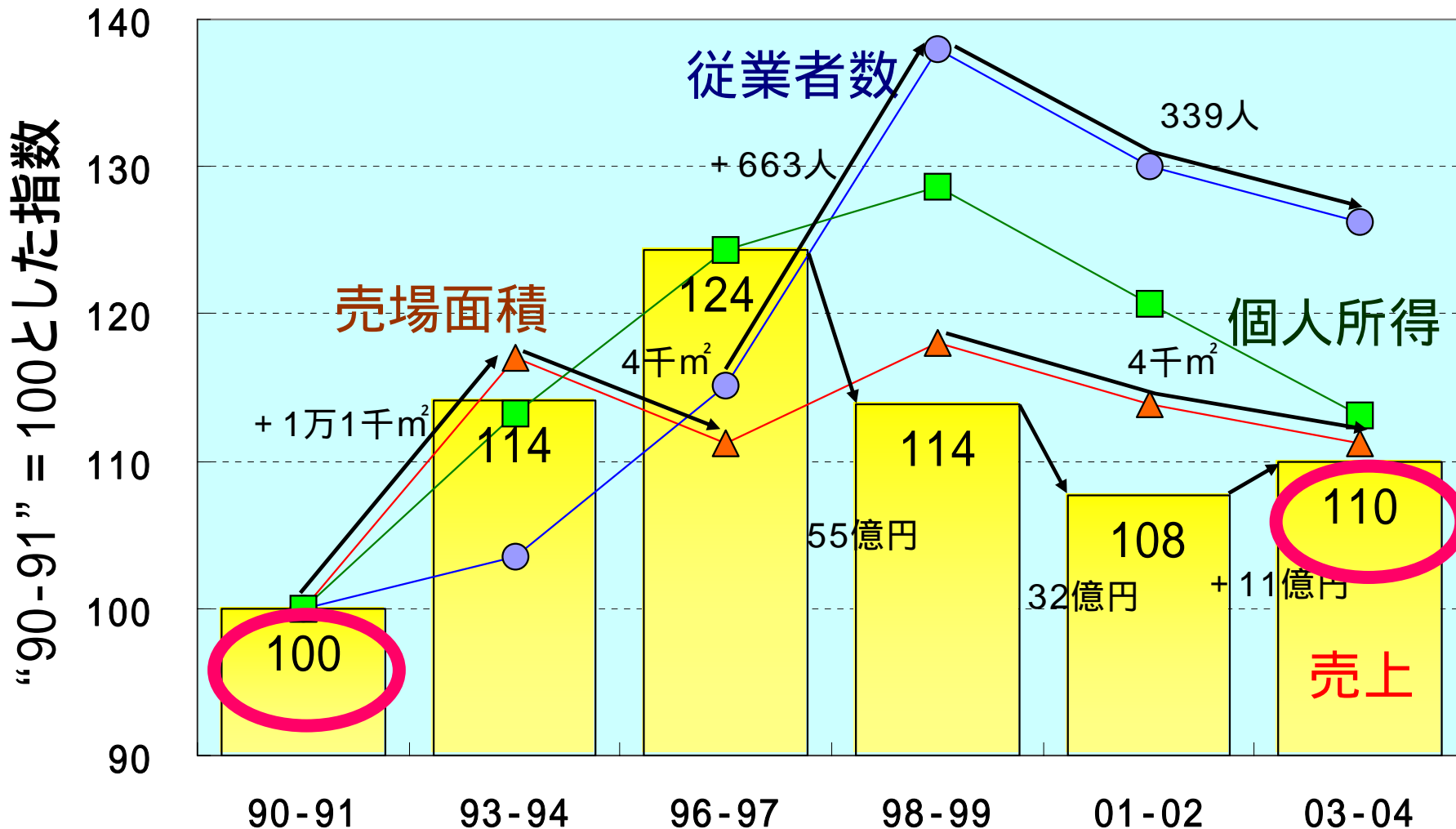
98-03年の工業出荷額増減と工業付加価値額増減

工業付加価値額増減 (1998 - 2003年)



# 以上を一枚にまとめてみると

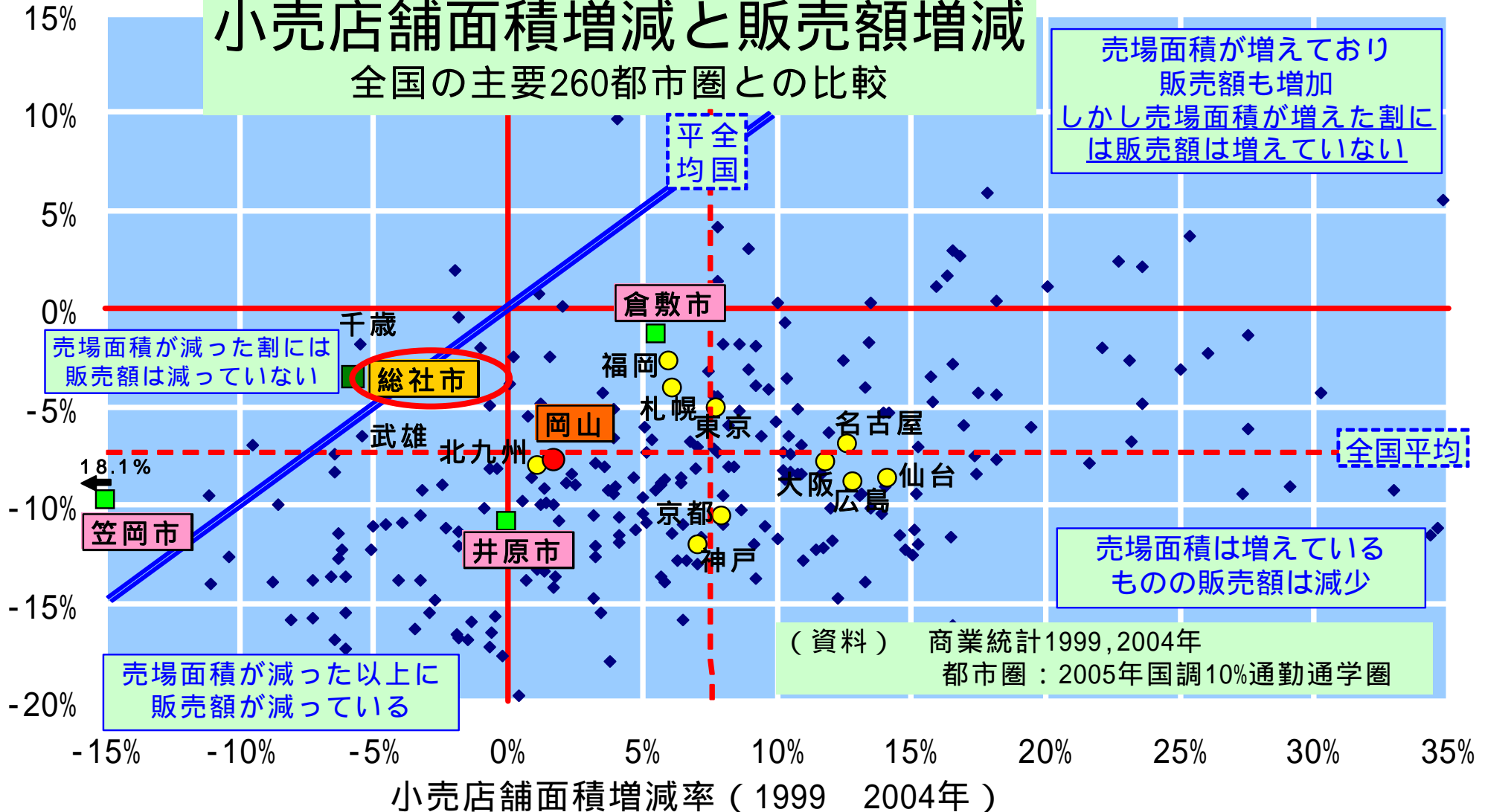
## 総社市の小売商業の動向 大型店から中小零細店までの全合計



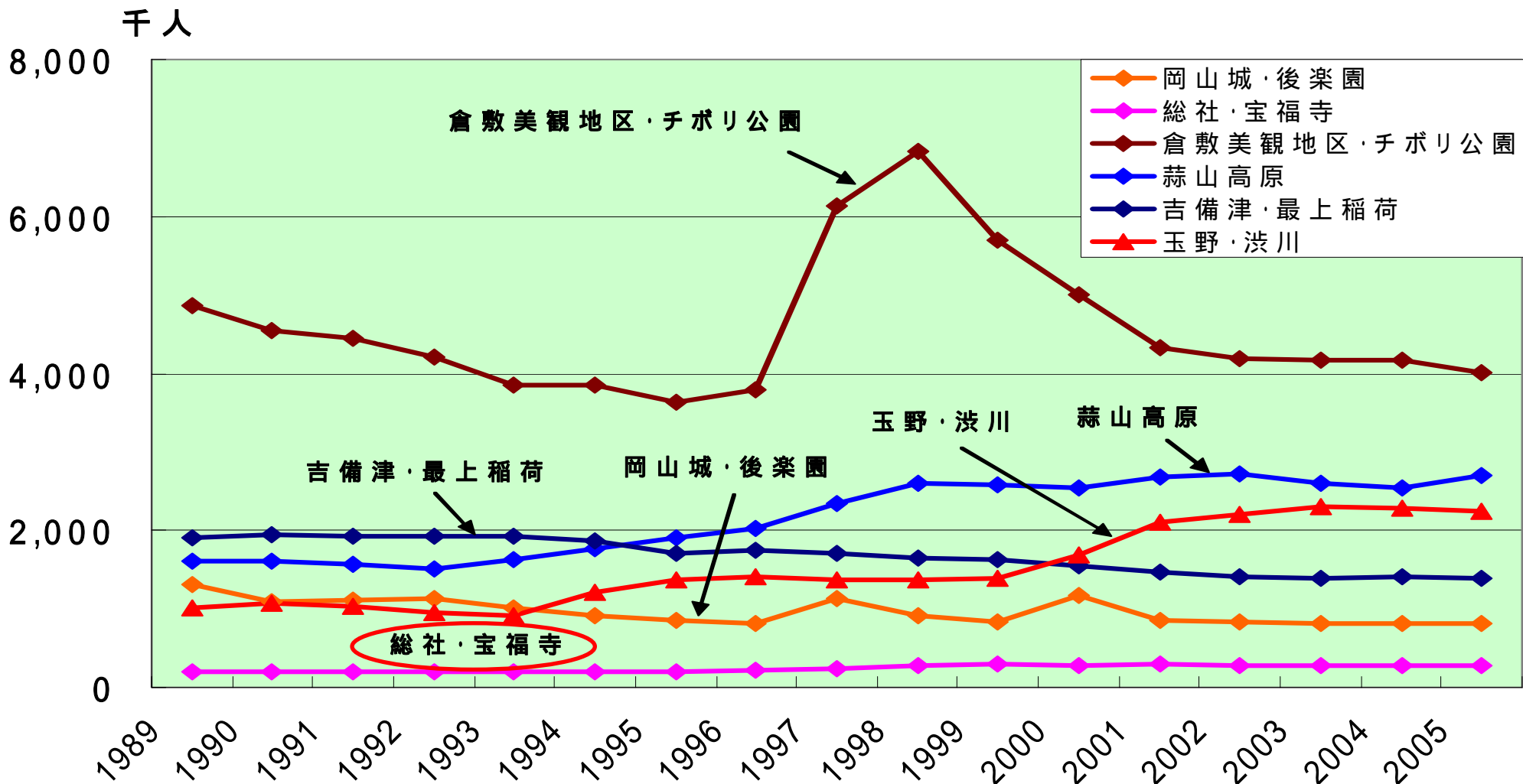
# 総社市の商業

小売販売額増減率（1999 2004年）

## 小売店舗面積増減と販売額増減 全国の主要260都市圏との比較



# 岡山県内の観光客推移

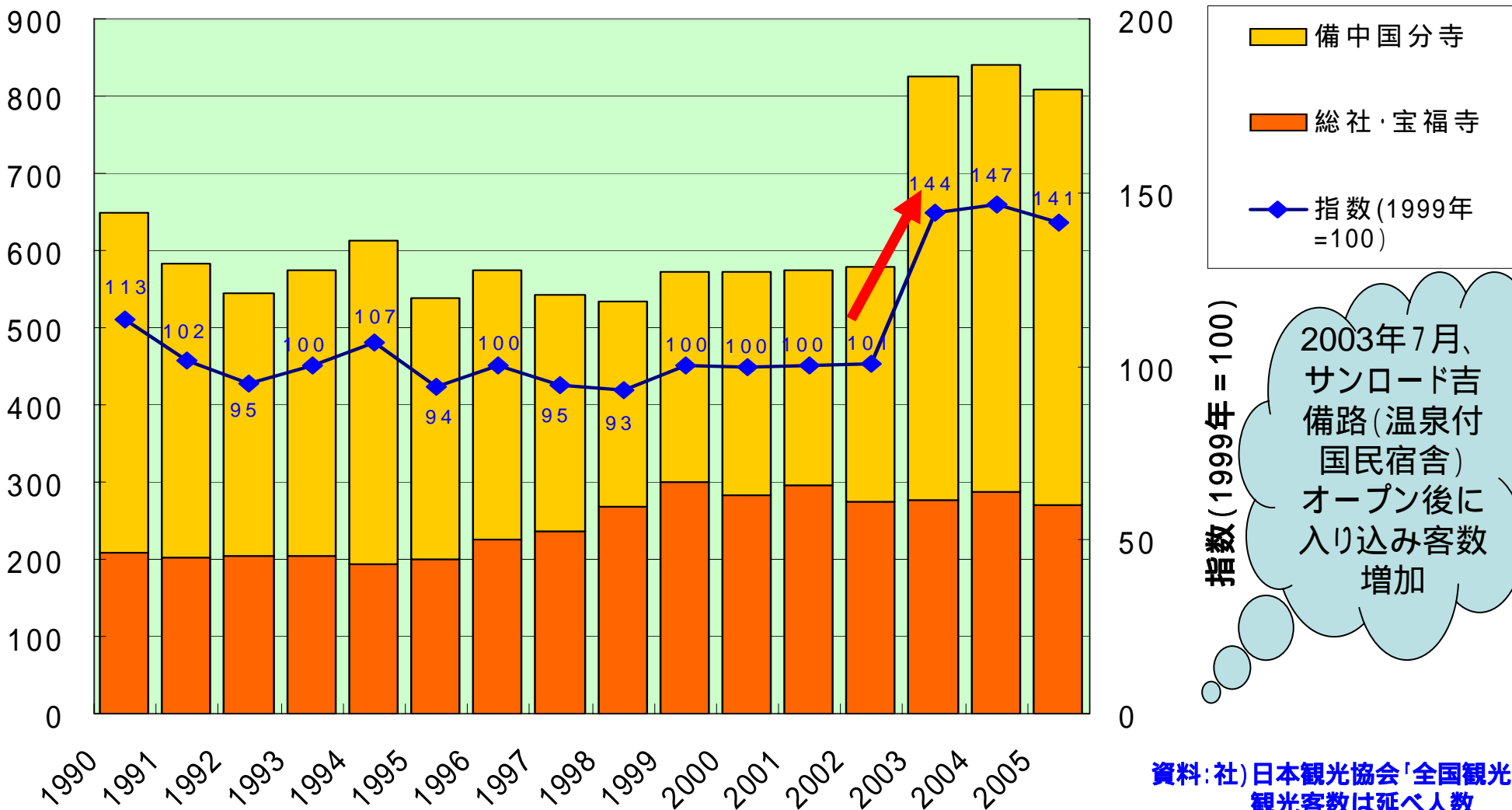


資料：(社)日本観光協会「全国観光動向」、観光客数は延べ人数

# 総社・宝福寺、備中国分寺の観光

総社・宝福寺、備中国分寺の観光客入り込み客数

千人



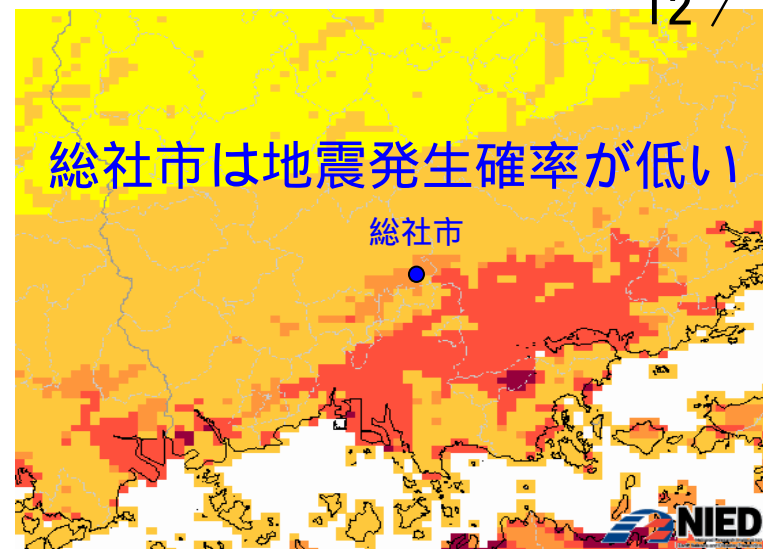
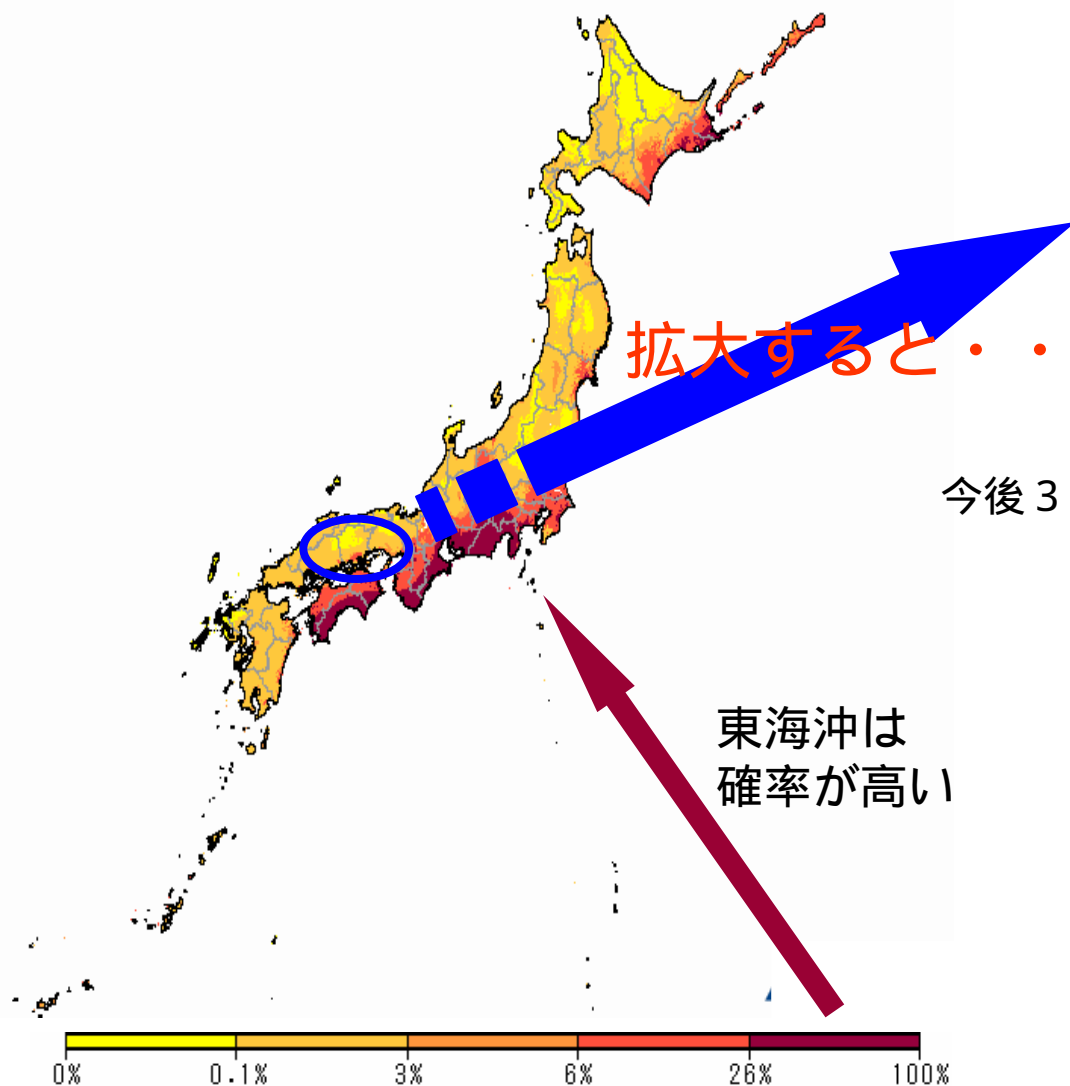
2003年7月、サンロード吉備路(温泉付国民宿舎)オープン後に入り込み客数増加

資料:社)日本観光協会「全国観光動向」  
観光客数は延べ人数

# 参考：今後の地震発生確率

今後30年間で震度6以上の揺れに見舞われる確率の分布図  
(2006年1月1日基準)

12 / 12



今後30年間で震度6弱以上の揺れに見舞われる確率  
(2006年1月1日基準 単位：%)

	震度6弱	震度5弱
総社市	3.2	60.0
岡山市	8.2	70.1
倉敷市	16.3	77.6
東京都(千代田区)	13.2	99.4
大阪市	22.2	92.1
名古屋市	36.3	97.3